

日時：平成21年3月21日(土) 午前11時～午前11時45分

場所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出席：学長 米澤 和彦
副学長 古賀 実
事務局長 富永 安昭
文学部長 三木 悦三
環境共生学部長 大和田 紘一
総合管理学部長 松岡 泰
学術情報センター長 山田 俊
文学研究科長 半藤 英明
委員 河原畑 廣
委員 石井 博憲
欠席：委員 坂本 元子

事務局：豊田事務局次長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、馬場総務課長、稲葉企画調整室長、
鉄戸学生支援課長、教務入試課安達入試班長、教務入試課柳田主任主事、上村主幹

1 開会（進行：豊田事務局次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：米澤学長）

(1) 審議事項

平成21年度一般選抜（後期日程）の合格者決定について

事務局から、平成21年度一般選抜（後期日程）の合格者決定について、資料1に基づき、「一般選抜後期日程を3月12日に試験を実施した。募集人員は全体で146名、志願者数は952名、受験者数は488名であった。3月19日に各学部教授会で合格判定が行われた。なお、センター試験の受験科目に不足があった者及び前期日程試験に合格し入学手続きを完了している者については、判定対象から除外している。」との説明があった後、各学部長から、資料2（会議後回収）に基づき説明があった。

三木文学部長から、「文学部日本語日本文学科は、10名の募集人員に対して、106名が志願し、51名が受験した。得点の上位12位までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

三木文学部長から、「文学部英語英米文学科は、18名の募集人員に対して、108名が志願し、48名が受験した。得点の上位21位までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

大和田環境共生学部長から、「環境共生学部環境資源学科は、8名の募集人員に対して、43名が志願し、16名が受験した。得点の上位11位までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

大和田環境共生学部長から、「環境共生学部居住環境学科は、12名の募集人員に対して、67名が志願し、32名が受験した。得点の上位13位までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

大和田環境共生学部長から、「環境共生学部食健康科学科は、8名の募集人員に対して、118名が志願し、59名が受験した。得点の上位11位までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

松岡総合管理学部長から、「総合管理学部総合管理学科A方式は、40名の募集人員に対して、158名の志願があり、51名が受験した。得点の上位45位までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

松岡総合管理学部長から、「総合管理学部総合管理学科B方式は、50名の募集人員に対して、352名が志願し、231名が受験した。得点の上位60位までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

事務局から、「合格発表を3月21日に行い、3月23日から27日までに入学手続きを行う。一般選抜後期日程試験の入学手続き期間が終了した時点で各選抜区分に欠員が生じている場合は、3月28日に追加合格の手続きを行いたいので、御了承いただきたい。」との説明があった。

教育研究会議として、追加合格手続きについて了承した。

事務局から、合否判定結果を受けて、資料1に基づき、平成21年度一般選抜(後期日程)の特徴及び予想される充足率等について説明があった。

学生表彰について

事務局から、学生表彰について、資料3に基づき、「本学の同好会であるMR研究会が第25回NHK全国大学放送コンテストDJ部門において3位に入賞したことから、学則第58条の規定に基づき学生として表彰に値する行為があった者として、学長表彰することとしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

(2) 報告事項

熊本県立大学未来基金(仮称)の創設及び寄附金募集について

事務局から、熊本県立大学未来基金(仮称)の創設及び寄附金募集について、資料4に基づき、「3月24日に開催される理事会で最終的に審議いただくが、熊本県立大学未来基金(仮称)を平成21年4月1日に設立することとしたい。」との報告があり、同基金の概要及び寄附金募集の推進体制及び基金の運営体制並びに寄附金募集の具体的取組方策等について説明があった。

4 閉会